音読を楽しむ　いろは歌 (2)

いろはにほへと
ちりぬるを
わかよたれそ
つねならむ
うゐのおくやま
けふこえて
あさきゆめみし
ゑひもせす

①色はにほへど（オ）（エ）
散りぬるを
②我(わ)が世たれぞ
常ならむ（ン）
※有為(うゐ)（イ）の奥山(おくやま)
今日(けふ)（キョウ）越(こ)えて
浅き夢見じ
酔(ゑ)（エ）ひ（イ）もせず

※有為…因縁によって生じるすべての現象・存在で、絶えず生じては滅しており、無常なもの。

いろは歌

いろは歌は、四十七の仮名文字を一回ずつ使って作られた七五調の歌。平安時代に成立したとされており、作者は不明。平安時代中期から流行した、七音・五音を四回繰(く)り返す、**今様**(いまよう)とよばれる形式になっている。古くから仮名を学ぶ手本として、また、物の順序を示すためのものとして用いられてきた。

確認テスト

「いろは歌」を読んで、問いに答えなさい。

(1) 次のア～エを、いろは歌の順になるように並べかえなさい。

ア いろはにほへと
イ ちりぬるを
ウ つねならむ
エ わかよたれそ

〔　　→　　→　　→　　〕

(2) 次のア～エを、いろは歌の順になるように並べかえなさい。

ア あさきゆめみし
イ うゐのおくやま
ウ けふこえて
エ ゑひもせす

〔　　→　　→　　→　　〕

(3) ——線①「色はにほへど」の意味を選びなさい。

ア 花の色は強い香りがしても
イ 花の色は美しく照り映(は)えていても
ウ 花はさまざまな香りがあるけれど
エ 花はさまざまな色があるけれど

〔　　〕

(4) ——線②「我が世たれぞ／常ならむ」の意味を選びなさい。

ア 私たちの世の中は、すべてが日常である。
イ 私たちの世の中は、変わることがないのである。
ウ 私たち、この世の誰(だれ)もが永久に変わらないのである。
エ 私たち、この世の誰が永久に変わらないことがあろうか。

〔　　〕